

氏 名	ほり 堀	した 下	かける 翔	職 名	講 師	就任年月	2025 年（令和 7 年）4 月
【学 歴】	2018 年 3 月	筑波大学人文学群比較文化学類卒業	2024 年 9 月	筑波大学大学院人文社会科学研究科文芸・言語専攻一貫制博士課程修了			
【取 得 学 位】	修士（文学）（筑波大学）	博士（文学）（筑波大学）					
【職 歴】	2022 年 4 月	医療創生大学非常勤講師	2023 年 9 月	東京医科歯科大学非常勤講師（～ 2025 年 3 月迄）			
	2024 年 4 月	早稲田大学人間科学部 e スクール教育コーチ					
	2024 年 4 月	筑波大学人文社会系特任研究員（～ 2025 年 3 月迄）					
【専 門 分 野】	日本近代文学						
【研 究 課 題】	与謝野鉄幹を中心とする明治期和歌表現の史的研究						
	明治文学の諸ジャンルにおける表現研究						
【担 当 科 目】	人間と文学						
	日本語理解 A～D						
【学会・社会活動】	筑波大学日本語日本文学会 会員						
	和歌文学会 会員						
	日本近代文学会 運営委員						
	日本社会文学会 会員						

【主な研究業績】

区 分 (単・共別)	著 書 ・ 論 文 名 等	発行所・掲載誌・発表学会等	発行・発表 年 月
論 文 (単)	「明治の名所 —『国学和歌改良論』から鉄幹まで」	『稿本近代文学』第44集	2021年3月
論 文 (単)	「明治二〇年代の女子向け歌論と与謝野鉄幹「亡国の音」」	『稿本近代文学』第45集	2022年3月
論 文 (単)	「鉄幹と新国文運動」	『稿本近代文学』第46集	2023年3月
論 文 (単)	「新派歌人の「歌」の歌 — 鉄幹に対する曙覧の影響 —」	『日本近代文学』第109集	2023年11月
論 文 (単)	「「血汐」考 — 明治期和歌が受容した新体詩の語彙」	『国語国文』第93巻第1号	2024年1月
論 文 (単)	「柳川春葉「出勤前」論 — 「小児」が「観察」する文体」	『稿本近代文学』第47集	2024年5月
論 文 (単)	「「汽車」考 — 与謝野鉄幹『東西南北』における字音語 —」	『和歌文学研究』第129号	2024年12月
学会発表 (単)	「樋口一葉の和歌表現 — 同時代歌人との比較から」	樋口一葉研究会	2021年7月
学会発表 (単)	「一葉和歌における「めづらし」	次世代研究者挑戦的研究プログラム研究発表会	2022年3月
学会発表 (単)	「明治期詩歌における「里川」 — 佐々木弘綱『詠歌自在』を手掛かりとして」	第二回文範研究会	2022年8月
学会発表 (単)	「明治三〇年代の浅香社出身歌人に共通する歌材」	筑波大学日本文学会月例会	2023年12月
学会発表 (単)	「土井晩翠「荒城の月」の「植うるつるぎ」	筑波大学日本文学会月例会	2024年10月
その他 (単)	「高校校歌の筑波山」	筑波大学人文社会科学研究群公開講座 文学資源としての筑波山	2025年2月